

あいさつ運動等

- 生徒会の取組において、期間（1週間）を決め、あいさつをしながらハイタッチをしたたくさんの生徒同士が会話を増やし、自己有用感を高め、仲が良くなる運動をした。毎日、ハイタッチをする生徒を生徒会が決め、同じ生徒ばかりにならないように工夫した。
- 生徒会生活委員会が毎朝交代で立ち、登校する生徒の皆に声をかけた。うつむきがちに歩いてくる生徒も「おはようございます！」の明るい声に、あいさつを交わすことができた。
- 毎日1回以上、相手に『ありがとう』と言ってもらえることをすることで、相手の気持ちを考えて行動する精神を養う親切運動を実施した。

フォーラム・フェスティバル

- 校区人権フェスティバルにおいて、人権サークルの生徒が、いじめをテーマに人権劇を発表した。
- 人権フォーラムに向けて、各学年、各クラスが「本音で話し合おう」をテーマに話し合いを重ねた。普段はなかなか表立って言えないことや悪ふざけ、意地悪、あるいはいじめに発展してしまうような実際にあったことについて話し合った。
- 生徒会役員が中心となり、小学校の児童会及び5・6年生の代表児童と中学1・2年生の生徒が話し合いを行う人権フォーラムを行った。

周知・啓発等

- 生徒会が中心となって、いじめ防止の標語とポスターの作成を行った。代議員を通じて各学級へ紹介して、いじめをなくしていく環境づくりを行った。また、その標語とポスターを校内に掲示して、いつでも見られるようにして、いじめ防止への意識付けに取り組んだ。
- 生徒会が中心となって「目安箱」を設置し、いじめ防止に対する意見集約を行った。また、それらの意見や生徒会本部役員の思いを生徒会通信に載せて、全校生徒に周知した。
- 津祭りにおける校区青少年育成協議会のパレードに生徒の有志約20名が参加し、いじめの撲滅を訴えた。
- 生徒会が中心となって、「心の叫び」と題して、日常生活で嫌な思いをした他人の言動を全校生徒から募集し、集計・分析を行った。それを全校集会で全校生徒に発表するなど、いじめ防止につながる啓蒙活動を実施した。

討議等

- 学年ごとに級長会が主体となって、日頃の学校生活を見直す機会をつくり、現状と課題を話し合い、その中でいじめや気になる人間関係、雰囲気を出し合い、改善策等を考え、学年集会やクラスで呼びかけを行った。
- いじめアンケート等を実施した直後に、各クラスの学活の時間を使い、班に分かれて「いじめをなくす方法」について、グループ討議を行った。15分～20分程度班で話し合い、その後、全体で交流して討議を深めた。クラスごとに「いじめをなくす方法」としてまとめをし、学年通信などで紹介をした。班長が司会進行を務め、積極的に活動した。また、班の交流の中で、自分の体験を話せる者もいて、深刻にまじめに考える機会になった。

ルール作り等

- 生徒会執行部とPTA本部役員がSNSのルールについて話し合いを持った。生徒会便りで発信をした。
- 全校で、三重県いじめ防止条例に係るいじめの問題に対する意見提案を行った。その後、自分たちのいじめの問題に関するルールを作り、教室及び校舎内に掲示した。
- 生徒会が中心となって、携帯電話を使わない日を設け、家庭での過ごし方を見直す機会を作った。

文化祭

- 文化祭で、人権委員会が舞台発表を行い、生徒、保護者、地域の方々へ啓発した。内容は、「中学校の強み、弱み」と題し、いじめ、言葉遣い、SNS使用の現状など、学校生活でのひとこまを劇にして、それぞれのことを考えてもらう機会とした。
- 文化祭で発表した、いじめをテーマにした演劇を、校区の小学校に出向いて発表し、中学生の取組を知ってもらうとともにいじめについて考えてもらう機会を持った。
- 文化祭において人権に関する発表の機会を作り、校区内小学校の全児童にも参加してもらい、小学校、中学校の代表による人権作文の発表会を取り入れ、保護者、地域の方々とともに、人権について考える機会とした。
- 文化祭で、手話劇に取り組み発表し、児童・生徒・保護者・地域の方々に「障がい」について考えてもらう機会とした。また、この取組をとおして、「他者を思う心」「協力」等を学び、「仲間づくり」につなげていった。

人権集会等

- 人権委員会が主体となって人権集会を行った。内容は、SNSの使用において今まで困ったことや嫌だったことを発表（いじめにつながる事案も含む）し合い、どのような解決策があるか提案し、みんなで考える機会とした。
- 全校集会の場で、生徒会執行部が「ケータイ安全利用宣言」をもとに、「メールなどのやりとりで人の悪口を書かない」、「何かあったら、必ず親や周りの大人に相談しよう」などの啓発活動を行った。
- 人権集会を行い、校内各学年での人権作文の発表とともに、例年行っているいじめ防止標語の募集を全校生徒に行い、各学年の優秀標語を掲示するとともに、県PTAのいじめ防止標語コンテストに応募した。

標語等

- 生徒会、人権委員会が中心となっていじめ防止等の標語を作成した。また、作成した標語を元に入権カルタを作成した。
- 生徒会が中心となって、「いじめ防止」に関する標語を全校生徒に募集し、いじめ防止を考えるきっかけとした。また、全校集会で優秀作品を紹介するとともに、いじめをなくしていこうとする決意を表明した。

